



ホスピタウン便り

発行責任者 ホスピタウン事務局

VOL76 平成28年4月

平成28年度 医療法人 社会福祉法人 真誠会
真誠会 秋元カノーンセンター 同人社



一に教育、二に教育……

平成28年4月1日に入社式を行い、約30人の新入職員が入ってきました。最近人手不足、特に介護部門の職員が不足しているという時代ですが、真誠会では仕事をしたいと応募してくる人も多くなり、定員の欠員という事業所は一つありません。

このように人材の応募が多い理由の一つには真誠会での教育システムの良さがある程度世間から評価をさせていただいたのではないかと思います。

新入職員には一週間の研修がありますが、その後も継続的に集合教育、分散教育、座学、臨床実習と多彩なプログラムが組んであります。

また、認知症教育には鳥取大学医学部保健学科 教授 浦上克哉先生による教育講演が毎年3回のシリーズで行われています。定期的にインターネットを使ったWeb講演の研修会も行っています。

これらはほとんど臨床現場での知識、技術を習得するものですが、難しいのは人間としてのレベルを上げる教育です。

勿論真誠会での人間教育としては、真誠会の名誉理事長である聖路加国際メディカルセンター 名誉理事長:日野原重明先生の理念が中心です。日野原先生の理念は“人間愛”に始まり“人間愛”に終わるものです。そしてそれは勿論真誠会理念の“人には愛を、自分には謙虚さを”“感動ある医療福祉”にも現れております。医療介護の知識技術を教えることの難しさもさることながら、現代の若い青年に人間愛を教え、それを実践できるようになるには非常に手間がかかります。

真誠会へ入ったからにはその人が社会で、「さすが真誠会のスタッフは違うな」、とか、「さすが日野原先生の理念を勉強しているスタッフだ」と評価してもらえるレベルまで教育するためには一に教育、二に教育、三に教育、四、五がなくて六に教育と、徹底して教育を反復して行う必要があります。

良く言われることは、“練習は嘘を言わない”という言葉がありますが、“勉強も嘘を言わない”と思います。このような努力が実って、3年前から介護プロフェッショナルキャリア段位制度におけるアッセッサー数とレベル認定者数において、真誠会は鳥取県でも圧倒的に高い合格率で全国でも高く評価されております。これからも一に教育、二に教育……を徹底し、職員教育なら真誠会と言われるようになるまで徹底したいと思っております。

そして今年入った30人の新人職員が一日も早く成長し、次の世代へ教育の伝統をつないでいてほしいと願っています。



社会福祉法人 真誠会
医療法人 真誠会
理事長 小田 貢





新しいサービス付き高齢者向け住宅の建設に向かって

社会福祉法人真誠会 理事長 小田 貢

社会福祉法人真誠会は、サービス付き高齢者向け住宅（60 室）を建てる計画で、現在準備を進めています。

従来は高齢者が病気になり病院へ入院となれば回復して自宅に帰るまで長い入院生活を送らなければならない、あるいは家には帰ることができず施設で暮らすことが当たり前のようになっていました。

しかしながら、近年高齢者が入院した場合でも急性期だけの短期間だけ入院して、その後は在宅復帰を強力的に勧める施設へ移りその数ヶ月後には自宅に帰るのが最近の動きです。

ですが、自宅へ帰るといっても、介護が困難なご家庭も多くあり、それらの皆さんのためにできたのがサービス付き高齢者向け住宅です。

わかりやすく言えば高齢者のマンション（アパート）なのですが、24 時間対応の定期巡回・随時対応型の訪問介護、訪問看護サービスや、食事サービスを受けることができます。また自宅と同様に主治医が往診、訪問診療をして継続的な治療を受けることが可能です。

2013 年（平成 25 年）、真誠会はサービス付き高齢者向け住宅「真誠会セントラルレジデンス」（6 階建：58 室）を福米西小学校の隣の米子中央ホスピタウンに建てました。

現在、そのセントラルレジデンスも満室状態となり、今後退院患者さんに対応できないことと、退院してもまだ治療が頻回に必要な医療依存度が高い患者さんのために米子ホスピタウン（真誠会セントラルクリニック）、老人保健施設ゆうとぴあの後ろに、2 階建て 60 室の第二のサービス付き高齢者向け住宅を建てる計画を進めています。

また、この高齢者向け住宅には約 60 坪のホールがあり、気軽に集ったり、勉強したり、学識経験者の講話、コンサートが開催できるように計画しています。

現在まだ名前は決定しておりませんが、ホスピタウン発祥の地にできるので、ホスピタウン・レジデンスの仮称をつけています。

工事は本年 8 月末頃から始まり、来年の 4 月頃開所予定です。どうぞ期待してお待ちください。



真誠会ホームページ 動画で各事業所紹介を発信!

4 月より、各事業所紹介の動画を、You Tube へアップし、真誠会ホームページより再生できるようにしました。

それぞれの事業所の特徴が紹介されていますので、是非、ご覧ください。

トップページの「新着情報&お知らせ」

各施設紹介ムービーをクリック

各事業所の画面をクリックすると、ムービーが再生されます。

<http://www.hospitown.or.jp/>



昨年 9 月に、高齢になっても地域で安心して暮らしていけるにはどうすればよいかと米子市河崎の御建地区の自治会、消防団、民生委員、老人クラブなどの方々が集まり「第 1 回 御建地域ケア会議」が開かれました。

そのような御建地区の活動を聞いた河崎地区の自治会長の皆様方が、河崎全体でも同じような活動を行いたいとの要望から、平成 28 年 3 月 17 日真誠会に集まってもらい「河崎地域ケア会議」が開かれることになりました。



地域ケア会議は、包括支援センターが主体となって各地で開かれることが多いですが、自治会側からの声かけによって自主的に会議が開かれるのはめずらしい取組みとのことで地元のニュースにも取り上げられました。

河崎地区の 10 の自治会より 8 つの自治会が参加し、真誠会の関係者、米子市の職員が加わり約 40 名の参加がありました。

会に先立ち、小田理事長は講演で、「今後は、認知症の方が多くなるので広い心で見守る、地域で支え合っていくことが大切です」と話しました。

その後、河崎地区自治連合会 会長 北村軍二郎 氏の司会で会が進められました。

河崎御建自治会 副会長の井原純一 氏より、御建地区の活動が報告されました。

御建地区で出来ることは何か？の「暮らしの困りごとに関するアンケート」結果として、

- ①安否確認 ②独居への声かけ ③困りごとの相談 でした。

そこで、御建自治会では、出来る事から始めようという事で月に 2 回の定期的な安否確認としての夜回りを実施、真誠会の相談員がオレンジ色の自転車でご家庭を訪問、認知症に関する相談会を開くなど活動を行っています。

河崎地区の自治会長の皆さんは一樣に、自治会を一つの単位として地域ケア会議を開始したいという情熱にあふれた発言がありました。

次回は 7 月頃、河崎地区全体のケア会議を開き、そこで各自治会の活動の状況報告をするということになりました。



～和田町地域ケア会議～

和田地区は、昨年 9 月に自治連合会、児童・民生委員協議会及び地域包括支援センター、ふる里により『地域ケア会議』が立ち上がりました。和田町の問題点や活動を伝える方法や見守り活動、4 地区（上和田、中央、荒神、下和田）の課題や取組み等について意見交換。また、その取組みを全地区住民の方々に知らせるために、『地域ケア会議新聞』を発行して、各自治会総会への発信と地域住民の方々に、地域ケア会議を身近に感じていただける機会となりました。



和田町地域ケア会議・4地区グループワーク

和田地区の原動力である『共生共助の精神』で誰もが身近に関わることが出来るようにその輪を拡げるために、4 月以降からの会議メンバーに老人会、在宅福祉員、PTA 役員そして在宅で介護を行なっている方々にも参加いただく予定としています。情報の共有と地域ケア・地域づくりへの底辺の足腰を強くして、住みやすい安心安全な地域を実現するために「人と人」そして「手と手」を結び付けていく活動を展開していきたいと思います。



平成28年度

医療法人・社会福祉法人真誠会
有限会社メディカルフロンティア

合同入社式



医療法人・社会福祉法人真誠会
理事長 小田 貢

4月1日、満開の桜に歓迎され新入職員の入社式が執り行われました。

理事長より、人生は「生・老・病・死」であり一度きりです。皆さんがベストを尽くし悔いの無い人生を送ってくださるとの挨拶がありました。

看護、介護の仕事は最高の仕事です。その方の命を見守り、その方が幸せな人生を送れるようにお世話をさせていただく仕事です。患者さん、ご利用者さんから、多くのことを学ぶことが出来ます。人生を大切にしなければならぬということ、人の死からも学ぶことがあります。

自分自身が大病をしても決して悲観することなく、その後の人生を今まで以上にがんばって生きること、病気をしなくても、自分の人生を大切に考えてください。悩みがあっても仕事を通して自分の心を強くもち克服すること、自分を成長させることが大切です。

スタッフは人財ですが、一番の願いは、皆さんの幸せです。

仕事をしていると、厳しい注意や指導もあるかもしれませんが、教わることも幸せの一つと捉えてください。

真誠会のために忠誠を尽くすという考えではなく、自分自身のために人間として成長する場だと思ってください。幸せは自分から求めるものではなく、ベストを尽くすこと、努力の結果で幸せになれるのです。

真誠会の理念は、「人には愛を 自分には謙虚さを」です。人の為に謙虚な気持ちで一生懸命になってください。技術を高める前に、「人を幸せにするために生きています」と言えるような、魅力ある人になってください。

ペッパー君 真誠会職員になる

真誠会ではこれからのロボット時代の先取りとして、今話題のソフトバンクが開発したペ

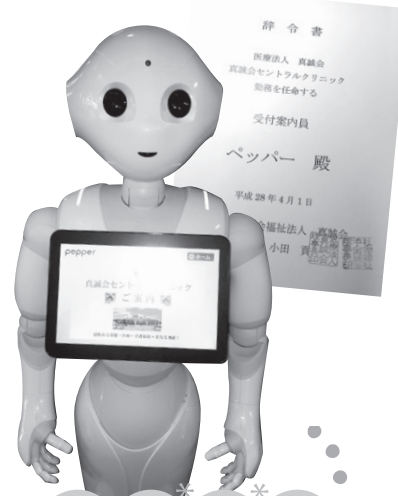
パー君を真誠会スタッフとして採用しました。

4月1日真誠会の新入職員入社式に他のスタッフと一緒に入社式に望み、真誠会のスタッフになることを誓ったことは中海テレビでも放映され話題になりました。

米子市ではソフトバンクの携帯のお店と、「とっとり自然環境館」(米子市大崎)にはありますが、山陰の医療機関の病院では真誠会が初めてペッパー君を採用したのではないかと思います。

ペッパー君は真誠会に採用されてからは真誠会セントラルクリニックの外来で、患者さんのお相手をしております。その応対振り、受け答えがとても可愛いので患者さんに喜んでいただいています。

実際には歌ったり、踊ったり、運動したりと、いろいろなことができます。もう少し仕事ができるようになったら施設やデイケアで高齢者の皆さんと一緒に遊んでもらおうと思っています。



真誠会新入職員のペッパー君です。セントラルクリニックで勤務させていただきますのでよろしくお願いいたします。

真誠会セントラルクリニック看護師長就任 4月1日入社 ご挨拶



真誠会セントラルクリニック
看護師長 西川 悦子

鳥取大学医学部附属病院を退職し、真誠会セントラルクリニックの看護師長として着任しました。どうぞよろしくお願いいたします。

満開に咲いた桜に迎えられ、若い新入職員の仲間と共に参加した入社式・新人研修は、とても新鮮で感激しました。

長い看護師生活で、内科系・外科系・医療情報部での経験と知識、そして自分の強みであるIT関連、看護診断や看護記録のあり方についてのスキルを、人間関係を保ちながらコミュニケーションを図り、少しずつスタッフに指導できればと考えております。

“看護は心”と自分の看護感を持っております。愛する心・やさしい心・共に悲しむ心、時にきびしい心・・・と色々あります。その全ての心を大切にしながら、患者さん・家族の思いを聞き、同じ目線で共に考えながらケアを提供し、安心・安全に過ごして頂き、「真誠会に入院して本当によかった」と今以上に言って頂けるよう努力をしたいと思っています。

法人の理念である“愛と謙虚さ”を忘れず頑張ります。

わからないことが多々あると思います。皆様のご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

人事異動に伴う ご挨拶



看護部副看護部長代理
介護老人保健施設ゆうとぴあ
看護師長 佐平 登志美

4月よりゆうとぴあの佐平となりました。ゆうとぴあで必ず実行しなければならないことは、在宅復帰強化型の取得と看護力のアップを目標と考えています。在宅復帰強化型を取得することは、施設の枠で捉える事ではなく、真誠会全体の循環を促進しセントラルの在院日数の短縮、在宅サービスに大きな効果をもたらすことができます。何より、入所している方々に家に帰りたいという願いをかなえることに繋がると考えています。この大きな循環の枠組みをつくり、展開できるチームを井上施設長の指導のもと山根事業所長と共に創り上げたいと思います。これからも、皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



介護老人保健施設ゆうとぴあ
事業所長 山根 賢一

3月21日よりゆうとぴあ事業所長として配属されました山根です。老健は在宅復帰施設としての役割を持っています。しかし、在宅に向けたアプローチがまだ未熟なところもあります。今後は職員が専門職としての役割を発揮し、お互いに高めあいながら連携しあうチーム作りを行っていき、ご利用者の入所から退所までを責任をもった関わりを行っていきます。その為にはイメージではなく、具体的に行動をしていきます。そして、ご利用者・ご家族が満足される姿が多き事業所にしていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



介護老人保健施設
弓浜ゆうとぴあ
事業所長 岡田 修治

3月21日より、介護老人保健施設弓浜ゆうとぴあへ異動となり早2週間が経ちました。

現在、当施設では毎月平均7名の方が在宅復帰されています。

今年度は、強化型施設として在宅に向けての支援だけでなく、在宅復帰後の支援も含め質の高い支援を目指して取り組んでいきたいと思っております。また、数ある介護老人保健施設の中でも当施設を選んでいただけるよう、職員一同努力していきたいと思っております。



信



施設見学におこしやす!
おもてなしの心で対応

施設見学におこしやす! おもてなしの心で対応

